



# キャンパス アート アワード 2024

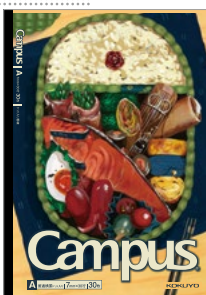
応募期間:

2024年6月3日(月) ⇒ 9月11日(水)【必着】

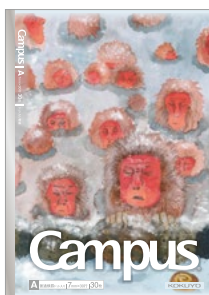
応募テーマ:

『My Sweet Home Town -地元のイチオシ-』

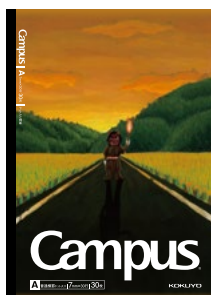
<https://kokuyo.jp/campusaward>



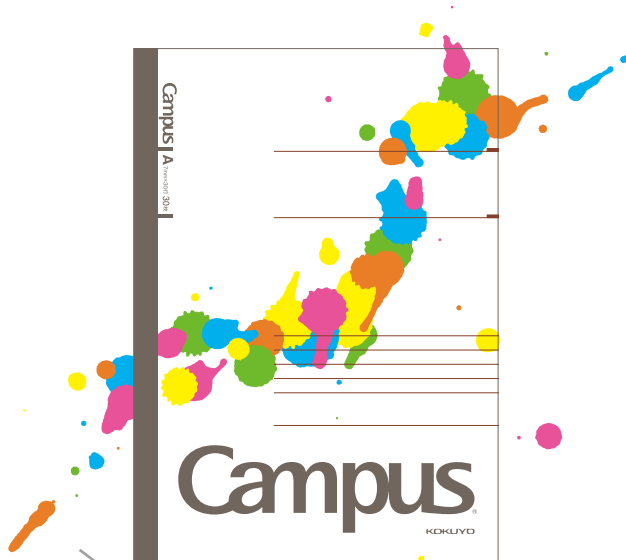
2021  
第7回  
広島県「味わい尽くせ!福の山」



2022  
第8回  
長野県「いい湯ださなぁー」



2023  
第9回  
秋田県「見守る神様」



2024

あなたのグランプリ作品が  
キャンパスノートの表紙になる!

# Campus®



Japan. Endless Discovery.

読売 中高生 新聞

KOKUYO

# キャンパス アート アワード 2024 について

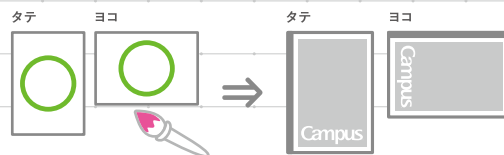
中高生が描く地元のイチオシから日本全国の魅力を発見するティーンズアワード。  
グランプリに輝いた絵は **キャンパスノートの表紙** になります！

## 応募テーマ 『My Sweet Home Town -地元のイチオシ-』

地元の風景、風俗、風習、行事、料理、菓子などをテーマにした、絵画作品。

**応募条件** ■ 作品は、**画用紙ハツ切 (271×382mm)** または、**B4 (257×364mm)**  
または、**B5 (182×257mm)** サイズで作成してください。

※若干のサイズ違いは可とします。  
※ヨコ向きでも応募は可ですが、  
グランプリを受賞してノートになる際の  
ロゴの位置は変わりません。  
※Campusのロゴが作品の上に入ります。



■ **手書き、版画いずれも応募可能です。画法や画材は問いません。**

ただし、文字、パソコンなどを使ったグラフィックデザインおよび写真ならびに第三者が知的財産権を保有しているイラスト・キャラクター等の使用は不可とします。  
※ノート表紙の「Campus」のロゴは絵画の中には描かないでください。  
※立体物は受け付けません。 ※作品の画材が剥げないように十分に乾かしてご応募ください。  
※応募点数の制限はありません。お1人様で何作品でもご応募いただけます。 ※応募作品の返却はできません。  
※作品をノートの表紙として制作する際に、Campusのロゴに重なる部分は見えなくなります。  
また、画材によっては、色味の再現性が低くなる場合があります。ご了承ください。

## 応募資格 中学生・高校生

※日本国内に在住で、中学校・高等学校・特別支援学校高等部  
ならびに専修学校高等課程に在籍する生徒。

## 賞および賞品 グランプリ (1点)

作品を表紙として製作する「**オリジナルキャンパスノート**」(※1) (50冊)

※グランプリ受賞者の学校にもオリジナルキャンパスノート1,000冊をプレゼントします。

賞状、トロフィー、図書カード 3万円分、副賞 (※2)

**読売中高生新聞賞 (1点)** 賞状、トロフィー、図書カード 2万円分、副賞 (※2)

**コクヨ賞 (1点)** 賞状、トロフィー、図書カード 2万円分、副賞 (※2)

**地区優秀賞 (6点)** 賞状、トロフィー、図書カード 3千円分、副賞 (※2)

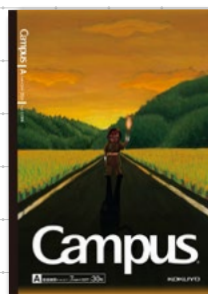
**審査員特別賞 (3点)** 賞状、図書カード 3千円分、副賞 (※3)

**入選 (36点)** 賞状、コクヨ文房具セット

※1 ノートサイズセミB5縦 (製品化にあたり作品の縮小やレイアウト編集など行う可能性があります)

※2 副賞: 読売新聞グッズ、コクヨ文房具セット など ※3 副賞: コクヨ文房具セット、審査員関連グッズ など

2023年グランプリ作品  
《見守る神様》  
キャンパスノートの  
表紙になりました!



**応募期間** 2024年6月3日(月) ⇒ 9月11日(水)【必着】

**応募方法** 作品の発送前に、必ずホームページからエントリーをして、  
応募用紙を作成してください。



[ホームページ] [kokuyo.jp/campusartaward](http://kokuyo.jp/campusartaward)

**Step 1** ホームページより**エントリー** (応募用紙の作成) をする。

### 団体応募の方

⇒ **担当窓口の方** (先生など) が  
作品をまとめて**エントリー**

人数、窓口担当者氏名、学校・団体の住所、  
電話番号、メールアドレスなどを入力してください。

### 個人応募の方

⇒ **個人でエントリー**

作品名、作品に込めた思い (50~100文字)、  
氏名、住所、電話番号、学校名、学年、  
メールアドレスなどを入力してください。

**Step 2** エントリーが完了したら、**応募用紙をA4用紙にプリント**し、必要事項を記入する。

### 団体応募の方

⇒ **作品数分**をプリントし、  
必要事項を記入

各作品の制作者に、作品名、作品に込めた思い  
(50~100文字)、氏名、学年、保護者署名などを  
記入していただいでください。

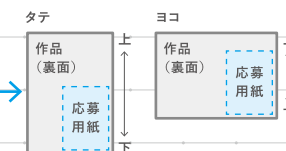
### 個人応募の方

⇒ **プリントし、  
保護者署名**を記入

プリントした応募用紙の保護者署名欄に、  
保護者から署名をいただいでください。

**Step 3** 作品の裏に  
**応募用紙を貼り付ける。**

作品(裏面)の右下に、  
のりやテープでしっかりと  
貼り付けてください。



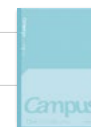
**Step 4** 作品が折れ曲がらないように、郵送や宅配便などで作品送付先まで送る。

### 《作品送付先》

〒537-0013 大阪市東成区大今里南6丁目8番10号  
コクヨKハート株式会社内 『キャンパスアートアワード事務局』宛

### 《団体応募者の方にプレゼント》

団体応募をしてくれた参加者全員に「**キャンパスフラットが気持ちいいノート** (1冊)」をプレゼントします。



## 審査の流れ

### 地区審査

地区審査では下記の全国6地区に分けて審査を行います。  
まず、各地区の応募作品から中学生4点、高校生4点ずつ選出します(合計48点)。

#### 【地域区分】

- 北海道・東北地区：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東地区：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部地区：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿地区：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国・四国地区：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州地区：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

### 最終審査

地区審査で選ばれた48点から、受賞作品が選出されます。

最終審査は、中学生応募作品・高校生応募作品の別を問わないものとします。  
上記以外の地区審査通過作品(36点)は入選となります。

## 結果発表

2024年12月中旬(共催者の都合により前後する可能性があります。)

- 審査結果については、キャンパスアートアワードのホームページおよび読売中高生新聞の紙面に発表いたします。
- 入賞者のご住所が不明、連絡不能、長期不在等の理由により、入賞のご連絡又は賞品のお届けができない場合は、入賞を取り消させていただきますので、ご注意ください。なお賞品のお届け先は、日本国内に限られます。
- 審査内容に関する個別の問い合わせには応じかねます。
- グランプリ作品をはじめ、入賞の全作品については、作品・氏名・年齢(または学年)・都道府県をキャンパスアートアワードのホームページと読売中高生新聞のほか、読売新聞およびコクヨの各種媒体にて公表させていただきますのであらかじめご了承願います。

## 応募に関する質問

キャンパスアートアワードホームページ

<https://kokuyo.jp/campusartaward>



## お問合せ先

コクヨお客様相談室

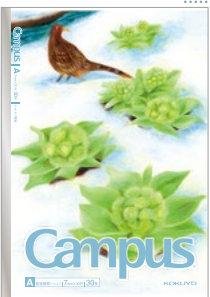
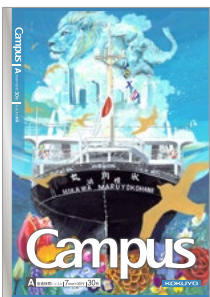
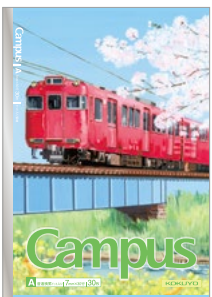
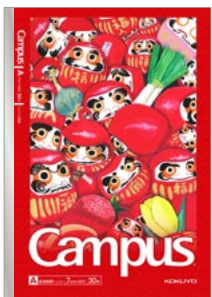
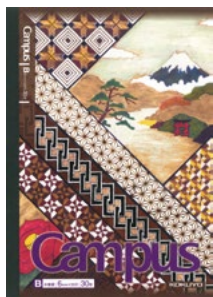
フリーダイヤル：0120-201-594

## 共催

読売中高生新聞 コクヨ株式会社

## 後援

文部科学省・観光庁



2015  
第1回  
茨城県「ネモフィラの青」

2016  
第2回  
神奈川県「YOSEGI in Hakone」

2017  
第3回  
埼玉県「越谷のいい所」

2018  
第4回  
愛知県「赤い電車の春」

2019  
第5回  
神奈川県「いつも心にある横浜」

2020  
第6回  
秋田県「春はすぐそこ」

## キャンパスアートアワード2023 グランプリ受賞者在籍 秋田公立美術大学附属高等学院先生のコメント

今回のグランプリ受賞は2020年に続いて2回目、まさか2度も本校生徒の作品がノートの表紙になるなんて!と驚いています。2018年の初参加当時も「My Sweet Home Town ～地元のイチオシ～」というテーマは非常に今日的で、生徒の地域への愛着を育みながら絵画表現を学ぶことができる格好の題材だと感じています。前回のグランプリ受賞では、「実際に自分が、本当に感じたことを絵にすることがいかに大切かということを感じました。そして今回の受賞作も、有名な物産や観光地ではなく、自分の身近にある本当に愛着のある風景を描いたものでした。授業では構図や描写などの技術的な指導もするのですが、まずは何よりもその思いがあってこそ、観る人により強く訴えかける絵になるのだ、ということを実感することができました。SDGsが広く認知され、持続可能な社会の実現に向けて自分たちに何ができるかを考えることは、今や高校生にとってもあたりまえのことであり、本校の生徒も「美術の力で地域社会にどう貢献していくか」を日々考えています。どうかこれからも「本当に自分が感じたこと」を出発点に、周りの人を巻き込みながら、クリエイティブに次の一歩を踏み出せる人でありたいように!



2023年グランプリ作品  
《見守る神様》

秋田公立美術大学附属高等学院  
佐藤 那緒さん